

# 学階請求論文提出要項

- 提出期間** 2025年2月3日(月)～28日(金) ただし土・日・祝を除く  
各日 午前9時から午後5時まで受付(時間厳守)
- 提出方法**
  - 持参の場合 事前に教育部まで提出日時をご連絡のうえ、請求者本人が下記5の提出書類、下記7の冥加金を併せて持参し提出して下さい。
  - 郵送の場合 提出期間内必着にて、下記5の提出書類のみを書留郵便にて送付ください。下記7の冥加金は書類確認を経て受理が決定した後、振込にて納金となります(教育部から振込先口座をご案内)。  
※体裁の不備により不受理の場合は料金着払いにて書類一式を返送します。
- 提出先** 真宗大谷派宗務所 教育部(〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る常葉町754番地)
- 提出資格**
  - 学師請求論文 真宗大谷派教師であつて大学卒業と同等以上の学力を有する者、又は進業を許可された者
  - 擬講請求論文 学師授与から2年以上を経た者
  - 嗣講請求論文 擬講である者※真宗学又は仏教学に関する刊行著述のある者は、論文による請求に準じて、当該刊行著述による嗣講請求ができます。  
ただし、別途、提出にかかる要件がありますので、予め時間に余裕をもって教育部にご相談ください。
- 提出書類**
  - 学階銓衡願 1通 (2020度より様式変更。ダウンロードしてご使用ください)
  - 履歴書 1通 (2020度より様式変更。ダウンロードしてご使用ください)
  - 最終学歴卒業証明書(学師請求論文提出者のみ)
  - 提出論文 4部(下記6「体裁」に記載の要件を整えること)※学師請求論文提出者は、口述試問時に持参するものとして、さらに1部論文の控えをご用意ください。
- 体裁(体裁が整っていない場合は不受理となるので厳守のこと)**
  - 字数(出典や注は字数に含めない)
    - 学師請求論文 20,000字以上50,000字以内。
    - 擬講請求論文 50,000字以上100,000字以内とし、副論文の添付を妨げない。
    - 嗣講請求論文 字数は無制限とし、副論文の添付を妨げない。
  - 用紙 「真宗大谷派論文用紙」を使用、もしくは同様の体裁で作成のこと。  
※「真宗大谷派論文用紙」はダウンロードが可能です。  
真宗大谷派論文用紙(縦書) A4・40字×20行・12ポイント・上部余白(出典等記入欄)  
真宗大谷派論文用紙(横書) A4・40字×20行・12ポイント・下部余白(出典等記入欄)  
手書き用原稿用紙(縦書のみ) A4・20字×10行・上部余白(出典等記入欄)
  - 表記・製本・引用等について
    - 製本  
片面印字とし、表紙をつけて和綴じ又は洋綴じで製本する(縦書論文は縦書表紙で右綴じ、横書論文は横書表紙で左綴じ)。表紙の様式は見本を参照、もしくは教育部まで問合せください。
    - 表記・引用・注釈等について
      - 句読点などの禁則処理を行う。
      - 引用文献は凡例と共に必ず明記する。
      - 引用は鍵括弧(英文やサンسكريットのローマ字表記などはクォーテーションマーク)で括る、または行を改め、2字下げで記す(この際、前後に空白行を設けない)。その他の引用表記を用いる場合は凡例に示すこと。
      - 聖教の出典は『真宗聖教全書』、『定本親鸞聖人全集』、宗派発行の『顕浄土真実教行証文類(翻刻篇)』を基本とする。
      - 漢文の経典及び聖典は漢文のまま引用し、返り点などがある場合は省略せずに記入する。
      - 出典は原則、当該箇所の上・下部余白(縦書きの場合は上部、横書きの場合は下部)に記す。ただし、余白に収まらない場合は巻末もしくは章末にまとめて表記も可とする。
      - 注釈は、当該箇所の上・下部余白に脚注として記す、または後注として巻末もしくは章末にまとめて記す。
      - 論文用紙下部(手書き用紙の場合は左部記入欄)に頁番号を記入する。
- 学事冥加金**
  - 学師 50,000円
  - 擬講 70,000円
  - 嗣講 100,000円納入された冥加金は銓衡結果に拘わらず返金いたしません。
- 口述試問** 学師請求論文提出者には口述試問を行います(口述試問の日は論文提出後改めて通知)。
- 銓衡結果の通知** 学階銓衡会の審査を経て、2025年7月以降に書面をもって通知します。
- その他** 学階を授与された方は3年以内に真宗大谷派教学大会にて研究発表をお願いします。

【お問い合わせ】 真宗大谷派宗務所教育部 (TEL: 075 - 371 - 9193)